

令和4年11月定例記者会見要旨(令和4年11月1日)

**1. 現在「新うどん県泊まってかがわ割」により、観光客数が増加し、県内のホテルは予約が取りにくい状況となっている。このような中であって、坂出市としてどのように観光振興に取り組んでいますか。**

本市の観光振興の取組について、お答えいたします。本年4月26日に、さらなる観光振興の推進を図ることを目的に、坂出市観光協会を一般社団法人へ移行いたしました。それに伴い、旅行業を登録し、本市への旅行企画やツアーの造成を積極的に行っていきます。

その第一弾として、本市高速と高松海上保安庁と連携し、与島にある鍋島灯台が点灯して150周年になるのを記念して、10月22日(土)に、「瀬戸大橋スカイツアー+与島歩き(よしまるき)」と銘打った、鍋島灯台の内部見学や瀬戸大橋の登頂ツアーを遂行したところです。

また、観光協会のホームページを10月1日にリニューアルし、観る・食べる・買う・泊まる・観光スポットに加え、新たにモデルコースを追加しました。モデルコースは、王道・絶景・五色台周辺散策などの1日周遊コースを紹介しています。観光スポットは、景勝地・神社仏閣・アート・国指定文化財・花・島しょ部などに分類してそれぞれを紹介しております。

また、崇徳上皇ゆかりの白峯寺、自然豊かな五色台、風光明媚な沙弥ナカダ浜など本市の地域資源を新鮮な目で掘り起こし、本市の魅力を広く情報発信していただける「地域おこし協力隊」を採用予定です。それにより、国内外への観光情報発信、本市の地域資源を活用した体験プログラムや旅行商品の造成・販売促進、地域観光イベントの企画を行い、本市のPRや地域経済の活性化を推進していきます。

また、坂出市魅力発信事業として、先日、女優の相武 紗季さんに市内観光資源等をロケしていただき、「旅色」という電子雑誌および動画(3分、1分、15秒の3種類)を制作します。電子雑誌や動画は、11月15日に「旅色」ウェブサイトや市外のデジタルサイネージなどで公開する予定です。観光パンフレットは12月中に完成予定で、本州四国連絡高速道路(株)やJR四国にご協力いただき、淡路サービスエリアやしまなみ海道のサービスエリア、県外の駅構内に配布していただくほか、県外の道の駅にも配布する予定です。有名女優を起用することにより、県内外の観光客に注目していただくことで、本市の観光資源等をPRでき、観光客数の増加と本市の知名度向上が図れるものと考えております。

「新うどん県泊まってかがわ割」期間中のイベントとしては、坂出市市制施行80周年記念「坂出今昔展」を11月5日(土)から11月20日(日)までの計16日間開催いたします。これは、かつて塩田開発により栄えた坂出市のまちの礎を築いた先人への感謝を込めて、市民の方々に郷土愛を再認識していただくことを目的に、写真や映像、貴重な品々で坂出の歴史等を紹介するもので、今回は、昭和時代の給食販売(11/12・土)や昔懐かし土曜デーの開催(11/19・土)を予定しております。

今後についても引き続き、坂出市観光協会をはじめ、様々な団体と連携を図りながら、本市の観光振興を推進していきたいと考えております。